

小学校の部 優秀賞 一本松小学校5年 ^{ふくしま}福島 ^{たいが}昊虎

四国防災八十八話 第51話 救ったのは人のつながり

「救ったのは人のつながり」を読んで

ぼくは国語の授業で、大地震で津波が来ても一人の村人の判断で大勢の人の命が助かったという話を勉強しました。なぜ、大勢の人の命が助かったのかというと、その村人の素早い判断と周りの人々への呼びかけでした。この土佐清水市の話も同じで、区長さんと消防団員の素早い判断とすべての家庭への呼びかけが多くの人々の命を救ったのだとぼくは思います。

ぼくの住んでいる一本松では、祭りなどで地いきとの交流はありますが、地いきだけで行う防災訓練はありません。だから、もし家で地震が起こったら、どう行動したらいいのか分かりません。だから、まずは、地いきでの防災訓練を行ったらいいと思います。そして、ぼくにできることは、総合の時間に調べている地震のことを地域に発信することです。「地いきとのつながり」を一番に考えて防災についての学習を深めていきたいです。